

会報

庄原ロータリークラブ

SHOBARA ROTARY CLUB

2013~2014年度

■例会 会/火 曜 日 12:30 庄原グランドホテル
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
■事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp

●会長/石原 肇 ●幹事/福歳年行

道の駅たかの〈高野町〉

2013年12月3日例会記録

189 (914)

■2013年12月10日のプログラム

ガバナー公式訪問

■次のプログラム

年次総会・クラブ協議会

■ビジター紹介

三次中央 RC 沈 勝義会員 (清掃業)

会長の時間

石原会長



皆さんこんにちは。先ず、本日のビジターを紹介をいたします。三次中央 RC の沈 勝義会員です。どうぞゆっくりしてください。

さて、12月度は家族月間になってます。

1995~96年度ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました。そして1995年11月のRI理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2007年7月の同理事会において、2003~04年度ジョナサン・マジアベ会長が家族の重要性を強調していることを称え、理事会は12月を「家族月間」と指定し、これに伴って「家族週間」を廃止しました。

家族月間の意義とその展開

この月間は、ロータリアンにプロジェクトや活動、行事を通じて家族と地域社会への献身を示すとともに、クラブおよび地区はロータリー家族委員会を設置し、会員とその配偶者や子供、親戚、元ロータリアン、亡くなったロータリアンの配偶者等に対する家族的な心配りや善意の行動は、さまざまな考えを協力的に分ち合い、会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、更に人道的奉仕活動を発展させることによって、社会の信用を得、活力ある豊かなロータリーの発展に繋げることが期待されます。

現在、インターアクター、ローターアクター、ロータリー財団学友、ロータリー地域社会共同隊など、ロータリーに関係するすべての人の組織を含めて「ロータリー家族」と呼んでいます。この偉大な「ロータリー家族」と共に奉仕プロジェクトを行なうことが奨められています。会員の皆様のご家族もロータリアンとしてご理解ご協力をされていることだと思います。

11月27日の新聞に広島中央ロータリークラブさんの創立35周年を迎える記事が載っていました。会員の親睦をエネルギーに地域社会へ奉仕という事で献血支援活動の継続、社会奉仕活動の実践、会員参加で会員増強の内容が書かれています。帰られて記事をご覧いただければと思います。

以上で会長の時間を終わります。

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013~2014年度RI会長

ロンド・バートン

幹事報告

1. 本日の配布物・・・①会報No.18号 ②ガバナー月信No.6号
2. 沖田ガバナーより、ロータリー財団セミナー報告書

出席報告

会員数 35名 出席者 28名 MU 3名
欠席者 2名 出席率 93.93%

スマイル報告

沈 勝義会員 (三次中央 RC)・・・MU 宜しく申し上げます。

■プログラム

ロータリー情報・雑誌会報委員会担当



会員卓話

「ゴルフについて」 藤本 崇会員

今年の9月6日に、LPGA 会員山岡明明美プロの講演を聞きに行きました。演題は「“風をよむ” ゴルフを通して人との付き合い方を学ぶ」でした。

山岡プロは、キャディーをしながら頑張って、昭和60年にプロテストに合格し、優勝回数4回のママさんプロゴルファーです。

山岡プロは、色々な人のキャディーをしながら人との付き合い方を教えられたと話されていました。(マナーの悪さ、ルールを守らない) プロで稼ぐ為には何が大事かというと、瞬時に風邪を読む事(まず雲の流れ、2番目に木の葉、次は旗を見る)だそうです。ゴルフをする人は参考にしてみてください。それから、ゴルフが上手くなろうと思えば人を選びなさい、とも話されていました。

私たちはアマチュアでお金を払ってプレーをするわけですから、楽しくすれば良いと思います。しかし、大事なことは規則とかルールを守ることだと思っています。規則やルールは楽しくプレーをするために作られているのだと思うからです。

ロータリーも同じだと思います。お金を出して職業を通じて奉仕するからには、週1回、1時間を楽しく過ごせる雰囲気を作りたいと思っています。



会員卓話

「ポリオについて」 伊藤慎二会員

ロータリーの友11月号に、ポリオの撲滅まで「あと少し」という記事が掲載されていました。掲載されていた内容は、2012年には全世界でわずか223件の発症数しか報告されませんでした。3種のポリオウイルスによる感染例は、この1年間、世界のどの国からも報告されていません。現在、野生ポリオウイルスが残っている、いわゆる「ポリオ常在国」と呼ばれている国は、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3か国を残すだけとなりました。

しかし、医学雑誌には、ポリオは減るどころか、これからますます増えていくのではないかという記事が掲載されていました。また、最近見たアメリカのニュース雑誌には、ポリオはまだまだ大変なんではという記事が掲載されていました。

ロータリーの友の記事、医学雑誌等の記事のギャップを考えると、ポリオ撲滅の本当の状況はどうなっているんだという疑問が浮かんできます。